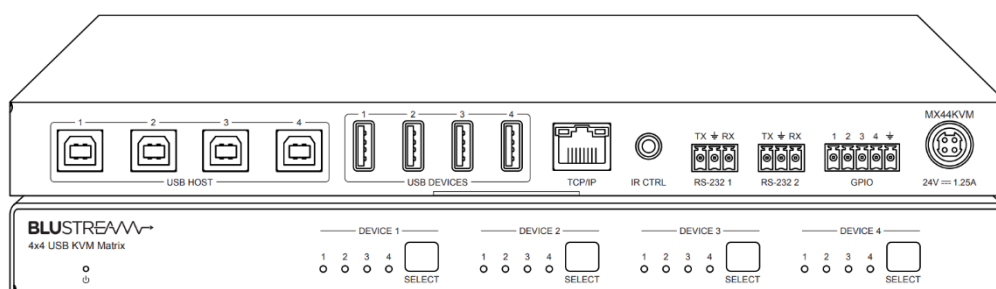


# Blustream

## 4x4 USB 3.0 KVM マトリックス

### MX44KVM

## 取扱説明書



## 改定履歴

バージョン	提供日	変更点
Ver1.0	2023/3/7	初版
Ver1.1	2023/06/30	連絡先情報の更新

## 安全上のご注意



この度は、MX44KVM をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。


本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みにになり、内容をご確認のうえにご利用ください。本製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するために守って頂きたい事項を示しています。

## 安全にお使いいただく為に

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分にて説明します。

 <p><b>警告</b></p>	<p>誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症に結びつく可能性があるもの。</p>
 <p><b>注意</b></p>	<p>誤った取り扱いをしたときに軽傷または建築物・財産などの損害に結びつくもの。</p>

本取扱説明書内に使われている記号(例)の意味は下記の通りです。

	<p>操作に関するヒントまたは追加情報です。</p>
---	----------------------------

**警告**

- 本製品は屋内での使用に限ります。
- 本取扱説明書で記載されている以外の使い方をしないでください。本取扱説明書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止し、販売店または弊社カスタマーサービスにご連絡ください。
- 本製品および、使用するケーブル類を他の高温部(暖房機器など)に近づけないでください。変形したり、保護部が溶けたり、感電や火災の恐れがあります。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障や感電、火災などの恐れがあります。使用中に本体から煙が出たり、異臭・異音等が発生したりする場合は、すぐに使用を中止して、ACアダプターおよびご使用のすべてのケーブルを抜き、販売店または弊社までご連絡ください。

**警告**

- 濡れた手で、本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- お手入れの際は、接続ケーブルをすべて抜いてから行ってください。また、科学雑巾、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。水洗いは絶対に行わないでください。変色や変形、故障の原因になります。汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けてよく絞ってからふき、その後乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 本製品は安定した場所に設置してご使用ください。不安定な場所から落としたり、ぶついたりするなどの衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のためUSB、ケーブル、LANケーブルやACアダプター、ケーブル類を全て抜いて保管してください。火災や故障の恐れがあります。
- 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所(結露しているところ)、ほこりや油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。

**注意**

- USBケーブル、LANケーブルやACアダプターの取付け取外しの際は慎重に作業を行ってください。機器の故障の原因となります。
- ACアダプターは専用品です。他社製品はご使用になれません。
- ACアダプター及びDCプラグは、プラグの部分を持って取付け、取外ししてください。コード部分を引っ張らないでください。
- USBポートを使用する前に、接続する機器の電源が正常であることを確認してください。
- USBポートのタイプに合わせ、対応するケーブルを使用してください。誤ったケーブルの使用は、機器の故障や損傷を引き起こす可能性があります。
- USBポートにケーブルを挿入する際は、正しい向きで挿入してください。誤った向きで挿入すると、ポートやケーブルが損傷する可能性があります。

**注意**

- USBケーブル、LANケーブルを束巻き状態で使用すると伝送に影響が出ることがございます。伸ばした状態でご利用下さい。
- USBポートには、埃や汚れが入り込む可能性があります。定期的にクリーニングすることで、ポートの接触不良を防ぐことができます。
- 本製品の上に重い物を置かないでください。
- 本製品を密閉された場所、屋外での使用や、長時間の連続使用は避けてください。
- ラックなどに設置するとき、放熱を妨げないように、本製品と他の機器の間に隙間を空けてください。
- 本製品両側の排熱口を塞がないようにしてください。排熱がうまくいかずに故障する恐れがあります。また、排熱口を定期的に掃除してください。
- 本製品を分解されますと保証の対象外となりますのでご注意ください。

※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

※ 製品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください

# 目次

改定履歴 .....	2
安全上のご注意 .....	2
製品概要 .....	7
製品特長 .....	7
各部名称 .....	8
LAN(RJ-45)端子インジケーターステータス説明 .....	9
接続 USB ケーブルの規格について .....	9
IR ケーブルの接続 .....	9
接続図 .....	10
ご使用の前に .....	11
本体のラックマウント及び本体用足の取付方法 .....	11
2 つの動作モード .....	12
Blustream 製マトリックススイッチャー製品と接続する .....	12
基本の操作 .....	13
電源を入り/切る .....	13
ホスト PC と USB デバイスに接続する .....	14
本体前面ボタンで操作する .....	14
IRリモコン(別売り)で操作する .....	15
ウェブ GUI で操作する .....	16
前準備 .....	16
PC の設定 - IP アドレスの設定方法 .....	16
ウェブ GUI へのログイン .....	18
運用モードの選択 .....	19
Standard 運用モードでのウェブ GUI 操作 .....	20
Standard 運用モードへ変更 .....	20
USB デバイスの手動割り当て .....	20
USB デバイス割り当て設定の保存・読み込み・名前変更 .....	21
Blustream Matrix 運用モードでのウェブ GUI 操作 .....	22
Blustream Matrix 運用モードの変更 .....	22
USB ホストの設定 .....	23
USB デバイスの設定 .....	24
GPIO の設定 .....	25
シリアル(RS-232)通信コマンドを送信 .....	26
本体のシリアル(RS-232)通信モード設定 .....	27
ネットワークの設定 .....	28
本体ファームウェアバージョン情報の確認 .....	29
ウェブ GUI ログインアカウント操作権限の設定 .....	29
設定のリセット .....	31
その他設定 .....	31
シリアル(RS-232)通信及び Telnet コマンドで制御 .....	32
シリアル通信設定値 .....	32
Telnet 通信ポート .....	32
ターミナルエミュレータソフトウェア設定例(Tera Term) .....	32
シリアル(RS-232)通信及び Telnet コマンド .....	33
システムインフォメーションコマンド .....	33
システムコントロールコマンド .....	36

---

シリアル(RS-232)通信設定コマンド .....	37
ネットワーク設定コマンド .....	38
FAQ よくある質問.....	39
主な仕様 .....	40
外形寸法 .....	41
サポート専用問い合わせ先 .....	41

## 製品概要

本体は、最大4台のホスト PC 間で USB デバイスを切り替え・共有が可能な 4x4 USB 3.0 KVM マトリックスです。ウェブカメラ、USB マイク、USB マウス/キーボードなどの USB 周辺機器を、複数台の Windows、Mac、Linux OS のホスト PC 間で切り替え・共有することができます。

最大 5Gbps のデータ転送可能な USB 3.0 規格に準拠し、USB 2.0/1.1 との下位互換にも対応。USB デバイスを接続する USB-A ポートでは、1 ポート辺り 5V/900mA の電源供給が可能。ドライバーやソフトウェアのインストールが不要で、プラグアンドプレイで Windows、Mac、Linux OS での利用が可能です。

各ホスト PC への USB 周辺機器の割り当て操作は、本体前面ボタンや IR リモコン(別売り)、本体ウェブ GUI 経由で制御が可能な他、IR 信号、シリアル(RS-232)通信、TCP/IP 経由でのサードパーティーコントロールシステムとの統合が可能です。その他、GPIO ポートを搭載し、サードパーティーコントロールシステムとのトリガー連動を設定できます。

また、シリアル(RS-232)通信コマンドパススルー用ポートを搭載し、Blustream 製 HDMI マトリックススイッチャー [型番:MX44VW] 及び [型番:CMX44CS] と連動可能で、USB 3.0 信号と HDMI 信号を同時に切り替え可能な KVM(Keyboard、Video、Mouse)簡易システムを構築することができます。

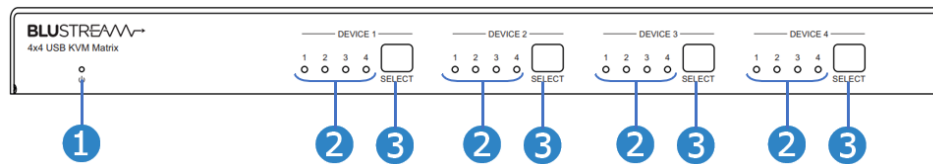
本体は、会議室におけるビデオカンファレンスシステムの構築、教育現場やサーバールーム、工場における複数台 PC 間 USB 周辺機器の共有に便利です。

## 製品特長

- 最大 4 つの USB 周辺機器を 最大 4 つのホスト PC 間で共有可能
- 最大 5Gbps のデータ転送速度
- USB 3.0 / 2.0 / 1.1 規格対応
- プラグアンドプレイ対応
- USB 給電対応 (USB-A ポート 1~4: 1 ポートあたり 5V 900mA)
- RS-232 コマンドパススルー機能で他の Blustream マトリックススイッチャーと連携可
- 多様な制御方法 | 本体ボタン、IR 信号、ウェブ GUI、RS-232、Telnet

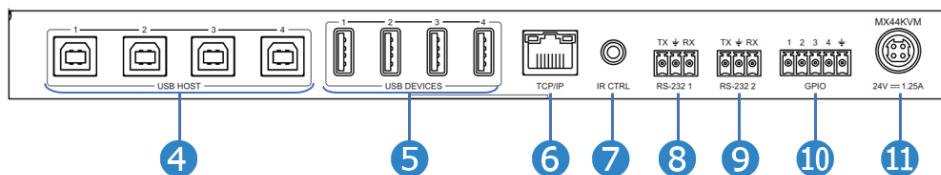
## 各部名称

## 前面



番号	表示・アイコン	説明
①		電源ステータスランプです。(電源オン:青色、電源オフ:消灯)
②	1/2/3/4	USB ホストのステータスランプです。USB デバイスが接続されているホスト PC 番号が青色に点灯します。(例:DEVICE 1 の 1 番ランプ点灯:デバイス 1 に接続している USB デバイスをホスト 1 に接続しているホスト PC に割り当てています。)
③	SELECT	ホスト PC 選択ボタンです。このボタンを押すと、該当 USB デバイスをホスト PC 1/2/3/4 の順に割り当てます。

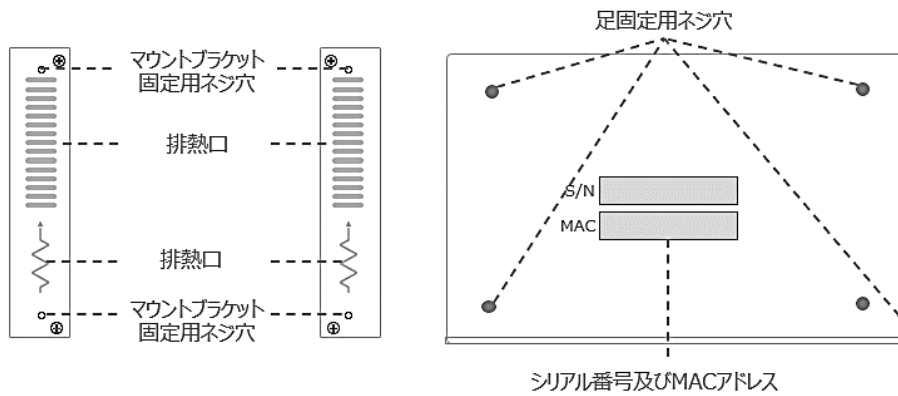
## 背面



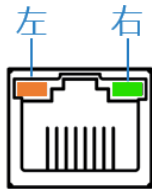
番号	端子・スイッチ	説明
④	USB HOST	USB タイプ B ポートです。ホスト PC に接続します。
⑤	USB DEVICE	USB タイプ A ポートです。USB デバイスに接続します。
⑥	TCP/IP	LAN 端子(RJ-45)です。ウェブ GUI また RS-232(Telnet)を使って、本体を制御します。
⑦	IR CTRL	3.5mm ステレオジャックです。専用 IR リモコン(別売り)で本体を制御するには、付属の 5V IR レシーバ(IRR)を接続してご利用ください。
⑧	RS-232 1	3 ピンターミナルブロック端子です。PC やサードパーティコントロールデバイスと接続し、シリアル通信を通じて本体を制御できます。
⑨	RS-232 2	3 ピンターミナルブロック端子です。RS-232 1 から受信した RS-232 コマンドをパススルー出力します。Blustream 製マトリックススイッチャー製品と連動したシステムを構成する場合にご利用ください。
⑩	GPIO	5 ピンターミナルブロック端子です。GPIO 信号を送受信します。
⑪	24V ≒ 1.25A	電源入力端子です。付属の AC アダプターを接続します。



## 側面と底面



## LAN(RJ-45)端子インジケーターステータス説明



インジケータ	ステータス	説明
左	消灯	電源オフ、またはネットワークスイッチに接続していない
左	緑色点灯	データ通信中
右	消灯	電源オフ、またはネットワークスイッチに接続していない
右	橙色点滅	データ通信中

## 接続 USB ケーブルの規格について

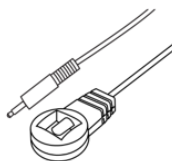
ホスト PC に接続する USB ケーブルには USB 3.1 Gen1(5Gbps)以下の USB ケーブルにてご利用いただけますが、USB 3.0 伝送速度を満たすには、それぞれ対応の USB ケーブルをご利用ください。USB デバイスに接続するケーブルは、USB デバイスの USB 規格に対応するケーブルをご利用ください。また、USB 給電機能をご利用する場合は、USB 給電対応のケーブルをご利用ください。

## IR ケーブルの接続

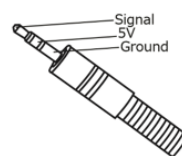
専用 IR リモコン(別売り)で本体を制御するには、付属の 5V IR 受信ケーブル(IRR)を接続してご利用ください。本体は、5V IR 受信ケーブル(IRR)x1 組が付属されています。

## IR受信ケーブル - IRR

Blustream 5V IR受信ケーブル:IR信号を受信し、Blustream製品を制御します。



## IR受信ケーブル - ステレオ 3.5mm

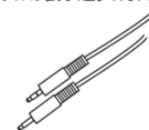


## IRコントロールケーブル - IR-CAB (別売り)

Blustream IRコントロールケーブル (3.5mm モノラル → 3.5mmステレオ変換) 他社製コントロールシステムを Blustream製品に接続するためのケーブルです。

12V IR製品との互換性があります。

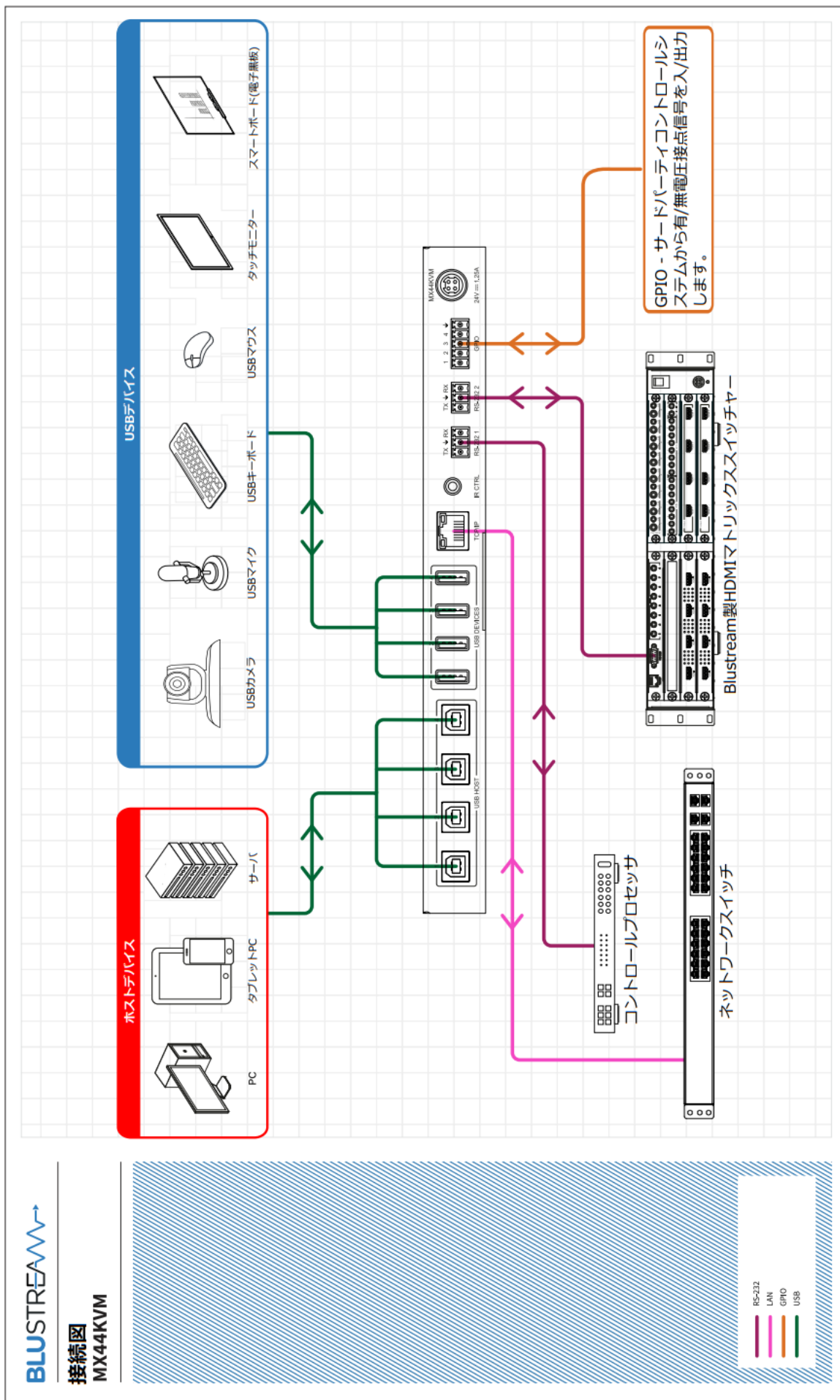
ご注意：ケーブルは表示通りの方向性を持っています



## 重要

Blustream 社の IR 赤外線製品は全て 5V にて設計されています。他社の IR 赤外線製品をご利用の場合は、5V IR であることをご確認ください。

# 接続図

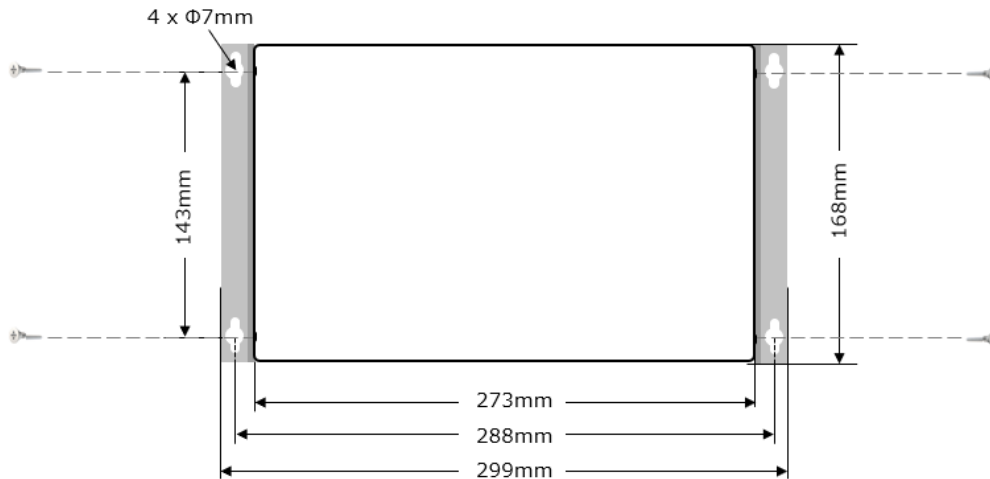


## ご使用前に

### 本体のラックマウント及び本体用足の取付方法

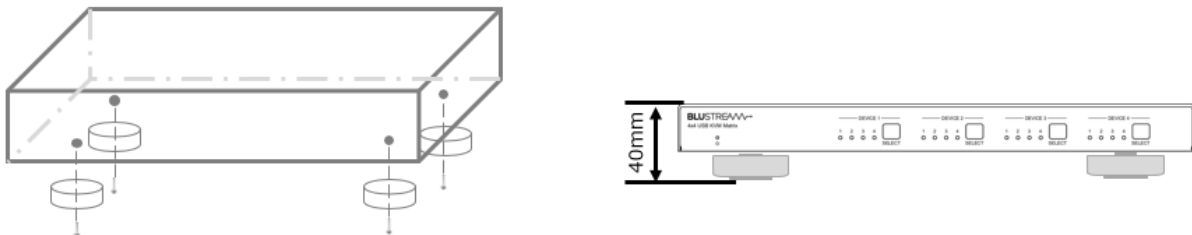
#### マウントブラケットの取付方法

付属のマウントブラケットをネジ(付属)で下図のように、本体の側面に取り付けます、



#### 付属足の取付方法

付属の足をネジ(付属)で下図の角度のように、本体の底面に取り付けます。



#### 注意

- 通気性の良い場所に設置してください。
- 本体の左右パネルにある排熱口をふさがらないでください。
- 本体の上に重い物を置かないでください。

## 2つの動作モード

本体は下記2つの動作モードがあります。

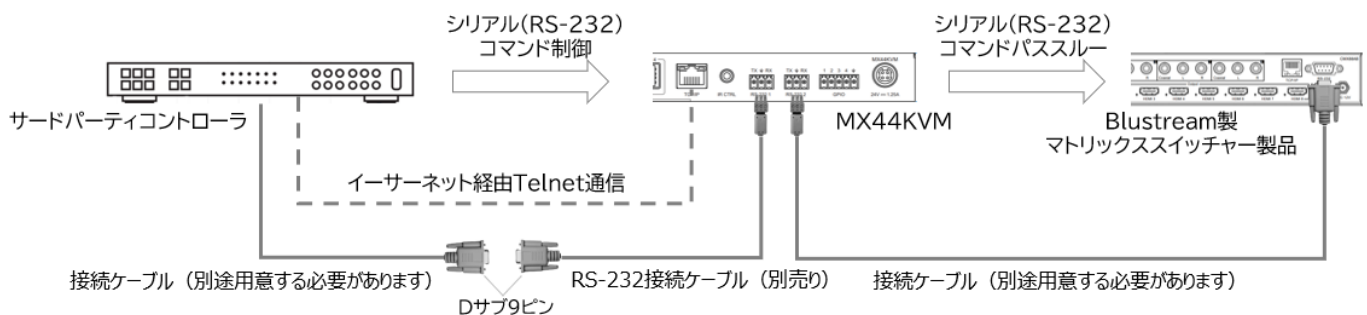
Standard モード	USB マトリックスとしての単独動作モードです。
Blustream Matrix モード	Blustream 製マトリックススイッチャーと連動させる動作モードです。

Blustream Matrix モードで運用する場合、本体のウェブ GUI にて、動作モードを 'Blustream Matrix' モードに変更する必要があります。(動作モードの変更方法は本書 P.19「[運用モードの選択](#)」をご参照ください。

また、本体を Blustream 製マトリックススイッチャーに接続する方法は本書 P.12「[Blustream 製マトリックススイッチャー製品と接続する](#)」をご参照ください。

## Blustream 製マトリックススイッチャー製品と接続する

本体を Blustream 製マトリックススイッチャー製品と接続してご利用する場合、下記図のように接続し、ウェブ GUI にて、スイッチングモードを 'Blustream Matrix' モードに変更してください。(スイッチングモードの変更方法は本書 P.19「[運用モードの選択](#)」をご参照ください。)



### 注意

本体と Blustream 製マトリックススイッチャー製品を接続し連動制御する場合は、RS-232 経由で制御用コマンドを送信し、操作を行ってください。本体ボタン、IR リモコン（別売り）、ウェブ GUI から本体とマトリックススイッチャー製品の連動制御はできません。

# 基本の操作

## 電源を入り/切る

本体に付属の AC アダプターを接続すると、自動的に電源が入ります。

### 電源を入れる手順



ロック機構の部分を持ち



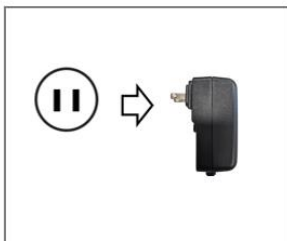
真っ直ぐに押し込む



コンセントに差し込む

電源を切るには、本体に接続されている AC アダプターを抜いてください。

### 電源を切る手順



コンセントからACアダプターを抜く



ロック機構の部分を持ち



真っ直ぐに引き抜く

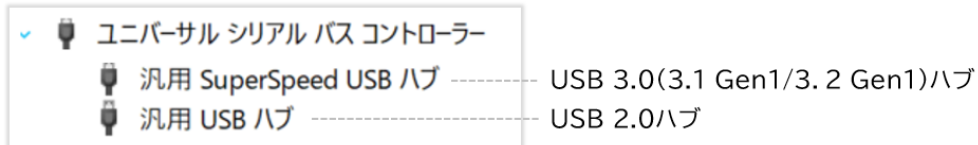
## ホスト PC と USB デバイスに接続する

本体に④USB HOST 端子にホスト PC、⑤USB DEVICE 端子に USB デバイスを接続します。詳細は本書 P.10「[接続図](#)」をご参照ください。

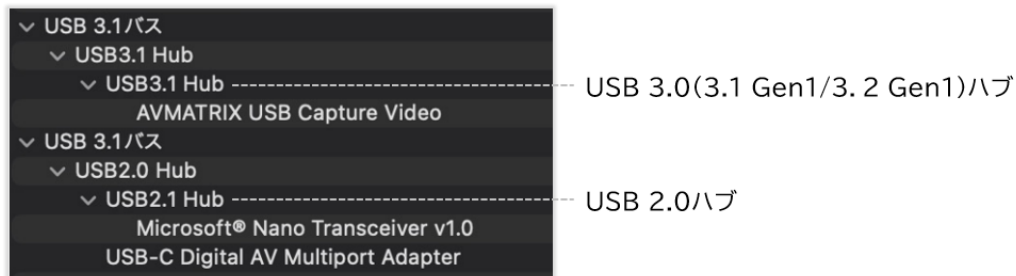
### 注意

USB ポートにケーブルを挿入する際は、正しい向きで挿入してください。誤った向きで挿入すると、ポートやケーブルが損傷する可能性があります。

Windows PC、MacOS 上では、USB ハブとして認識されます。



例:Windows 10 Pro 22H2 – デバイスマネージャー※1

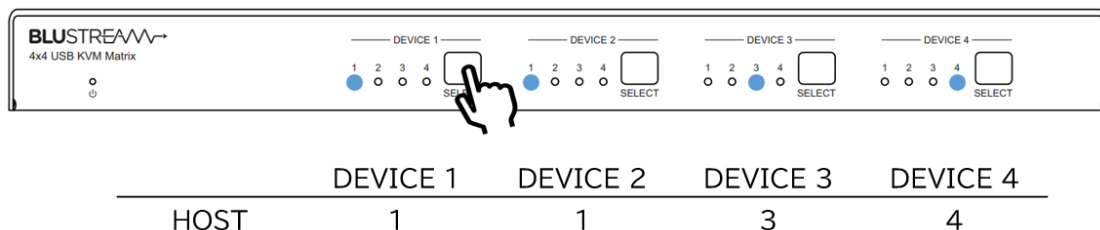


例:macOS Ventura 13.3 – システムレポート※1

## 本体前面ボタンで操作する

本体の前面 SELECT ボタンをくり返し押すと、該当 USB デバイスをホスト PC 1/2/3/4 の順に割り当てます。

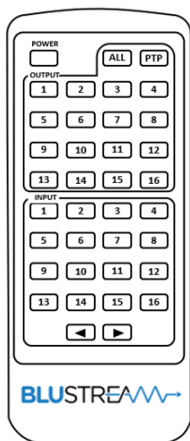
USB ホストのステータスランプで該当するデバイスがどのホストに割り当てられているかが確認できます。



※1 ご利用環境により、識別名が異なる場合があります。

## IRリモコン(別売り)で操作する

### IR リモコンの各操作エリアの説明



操作ボタン・エリア	説明
POWER	本体の電源をオン/オフします。
OUTPUT	USB ホストを選択します。 ALL: すべての出力チャンネルを選択します。 PTP: 各 USB ホストに対応する USB デバイスを自動割り振ります。 (USB ホスト 1 に USB デバイス 1、USB ホスト 2 を USB デバイス 2 に割り振ります)
INPUT	USB デバイスを割り当てます。 ◀: 前の USB デバイスを選択します。 ▶: 次の USB デバイスを選択します。

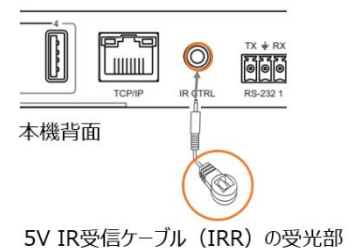
※ IR リモコンは CR2025 ボタン電池(未同梱)を使用します。

#### 注意

IR リモコンを本体の IR CTRL 端子に接続した 5V IR レシーバ (IRR) の受光部へ向けて操作してください。

操作する場所から受光部との間に障害物がある場合は、操作を正しく認識できない場合があります。

また、受光部に強い光が当たっている状態だと、リモコン信号を正しく認識しない場合があります。なお、IR リモコンは、押し続けても連続せず、1 回の IR 信号受信として認識します。



※ サードパーティ制御システムの12V IR コントロールに接続する際は、IR コントロールケーブル IR-CAB(別売り)をご利用ください。

# ウェブ GUI で操作する

## 前準備

本体とご利用の PC を同一セグメントのネットワーク接続します。マトリックススイッチャーの IP アドレスは本体の MAC アドレスに基づき、ローカルネットワークで検索してください。



DHCP 機能非対応のネットワークスイッチ/ルーター接続する時、PC の IP アドレスを本体初期 IP アドレスと同じセグメントに設定してください。

PC の IP アドレス変更方法については、本書 P.16「[PC の設定 - IP アドレスの設定方法](#)」をご参照ください。

本体の初期 IP アドレス: 192.168.0.200/24



## PC の設定 - IP アドレスの設定方法

ご利用の PC の IP アドレスをマトリックススイッチャーと同じ IP セグメントに設定されている必要があります。

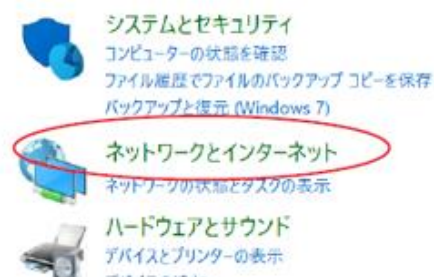
DHCP(動的)ネットワークに接続しているマトリックススイッチャーの IP アドレスを調べたい場合はシリアル(RS-232)通信コマンド 'STATUS' で確認できます。

### PC の IP アドレス変更方法

1. Windows ツールバーから 'コントロールパネル' を選択します。
2. 'ネットワークとインターネット' を選択します。



コンピューターの設定を調整します





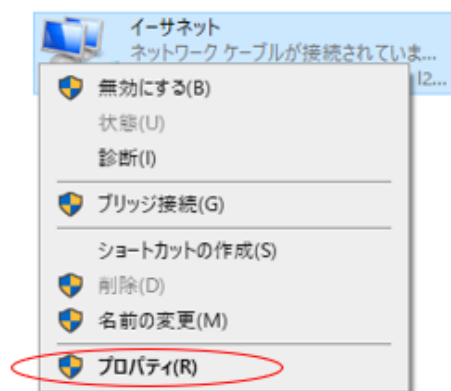
3. ‘ネットワークの状態とタスクの表示’ を選択します。



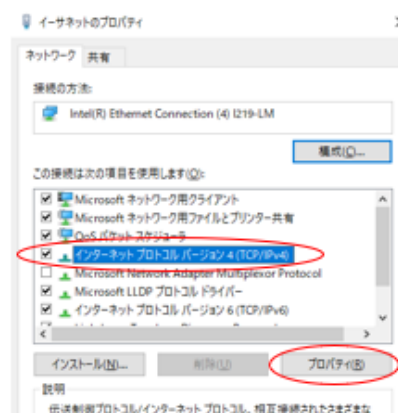
4. ‘アダプターの設定の変更’ を選択します。



5. ‘イーサネット’ を右マウスで選択し、‘プロパティ’ を選択します。



6. ‘インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)’ を選択し、‘プロパティ’ を選択します。



7. ‘次の IP アドレスを使う’ にチェックを入れ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。‘OK’ → ‘OK’ の順に選択すると、新しい設定が適用されます。



## ウェブ GUI へのログイン

PC 上でウェブブラウザ(Microsoft Edge や Google Chrome)を立ち上げ、URL 入力欄に、本体の IP アドレスを入力し、ウェブ GUI にアクセスします。ゲストモードの‘Control’ ページが表示されます。



ゲストモードの‘Control’ ページ

‘Login’ ページをマウスで選択、ユーザーネームとパスワードを入力し、ログインします。



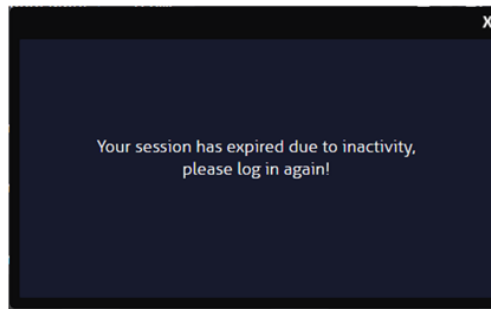
‘Admin’ ページ – ‘Switching Mode’

初期ログイン Username: **blustream** Password: **1234**

## ウェブ GUI 画面構成



ウェブ GUI で一定時間(約 5 分間)操作を行わない状態が続くと自動的にログアウトされます。



ウェブGUI自動ログアウト

### 注意

本体前面ボタン、IR リモコンで制御したステータス情報はウェブ GUI に反映するまで数秒間がかかります。最新の設定値をウェブ GUI にて確認するには、ページを更新(Windows の場合、F5 キーを押下)してください。

## 運用モードの選択

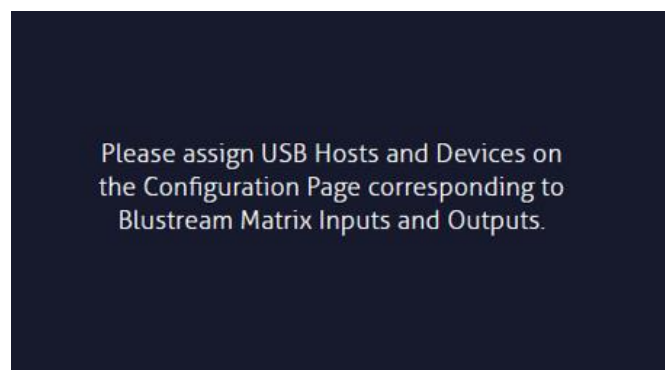
本体は 'Standard' モード、'Blustream Matrix' モード の 2 つの動作モードがあります。(詳細は本書 P.12「[2つの動作モード](#)」をご参照ください。)

ウェブ GUI の 'Admin' ページ内、'Switching Mode' 項目で動作モードを変更できます。



'Admin' ページ - 'Switching Mode'

'Blustream Matrix' モードに設定した場合、下記のメッセージが表示され、ウェブ GUI の 'Configuration' ページにて、本体 USB ホスト、USB デバイスを割り当てる必要があります。(詳細設定方法は本書 P.23「[USB ホストの設定](#)」、P.24「[USB デバイスの設定](#)」をご参照ください。)

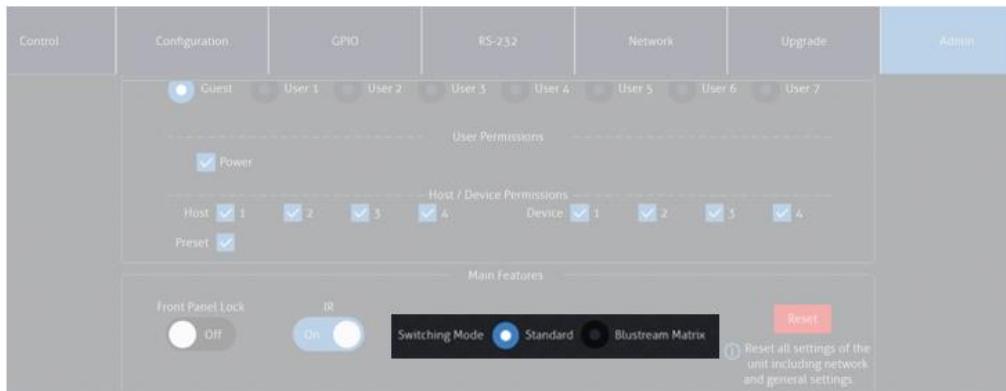


表示メッセージ

## Standard 運用モードでのウェブ GUI 操作

### Standard 運用モードへ変更

ウェブ GUI の 'Admin' ページ内、'Switching Mode' 項目で 'Standard' 運用モードを変更します。



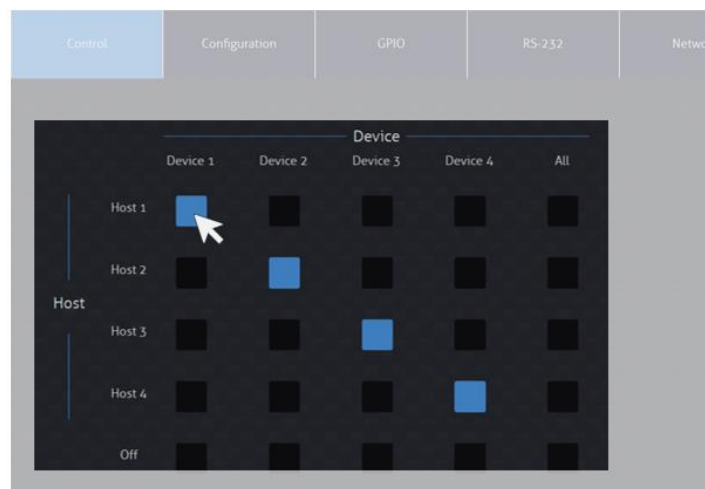
‘Admin’ ページ – ‘Switching Mode’

### USB デバイスの手動割り当て

ウェブ GUI の 'Control' ページで USB デバイスを割り当てます。

#### 手動で USB デバイスの割り当て方法

ウェブ GUI の 'Control' ページで該当する USB デバイスを割り当てするホスト PC の ■ をマウスで選択します。



‘Control’ ページ

項目	説明
All	該当ホスト PC にすべての USB デバイスを割り当てします。
Off	該当 USB デバイスの接続をオフ/オンに設定します。 オフ: 青色 ※2    オン: 黒色

※2 該当 USB デバイスの接続をオフ/オンに設定しても、本体前面のステータスランプが点灯した状態になります。

## USB デバイス割り当て設定の保存・読み込み・名前変更

ウェブ GUI の 'Control' ページで USB デバイス割り当てパターン設定を、保存・読み込みすることができます。割り当て設定は計 8 種類保存できます。

### 割り当て設定の保存方法

USB デバイスの割り当て操作完了後、保存したいプリセット(割り当て)の番号 'Preset1-8' を選択し、'Save' をマウスで選択します。



'Control' ページ - 'Preset1-8' - 'Save'

### プリセット(割り当て番号)の読み込み方法

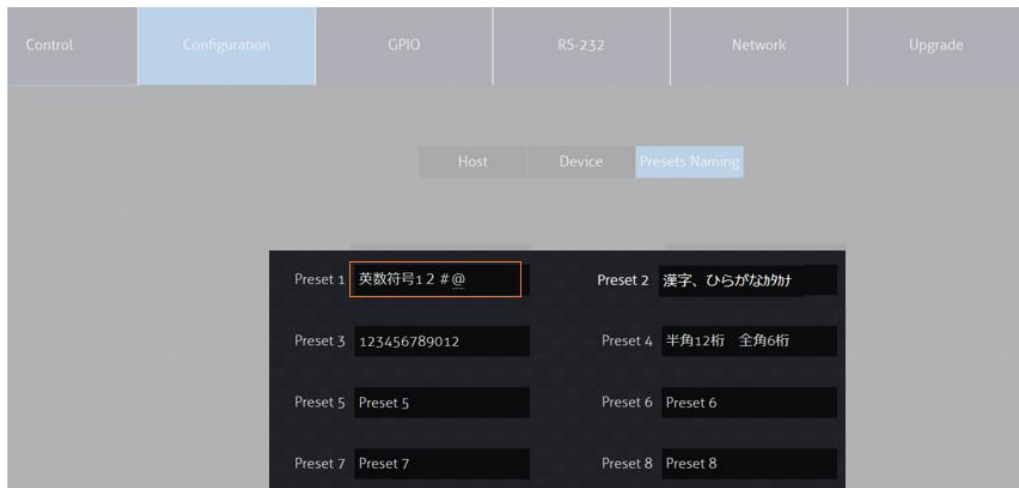
呼び出したいプリセットの番号 'Preset1-8' を選択し、'Recall' をマウスで選択します。



'Control' ページ - 'Preset1-8' - 'Recall'

### プリセット(割り当て番号)名の変更方法

ウェブ GUI の 'Configuration' ページ内 'Presets Naming' 項目で、変更したいプリセットをマウスで選択し、右側の入力欄にプリセット名を入力すると、約 2 秒後に新しいプリセット名が適用されます。(入力可能な文字:12 桁半角、または 6 桁全角の漢字、英数、符号、ひらがな、カタカナ)

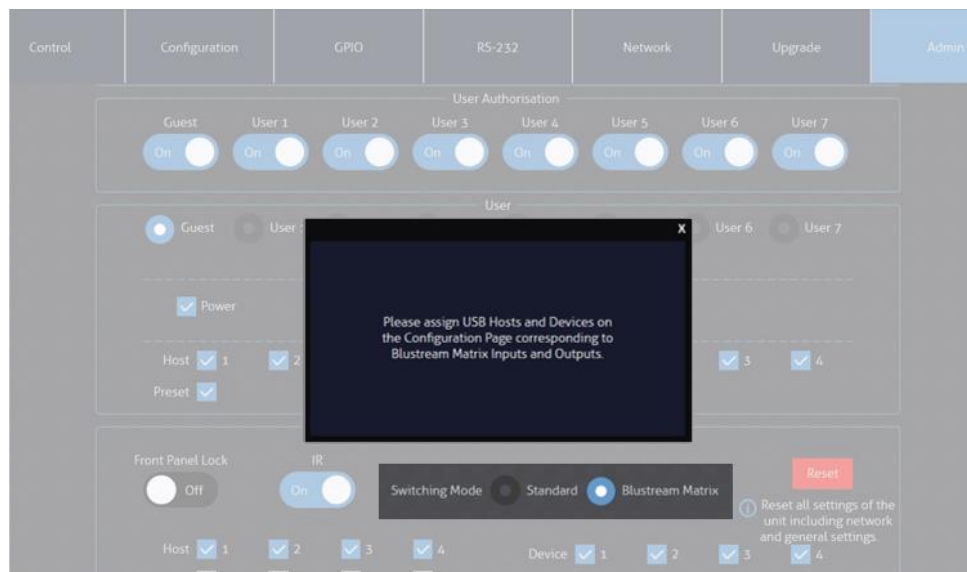


‘Configuration’ ページ – ‘Presets Naming’ セクション

## Blustream Matrix 運用モードでのウェブ GUI 操作

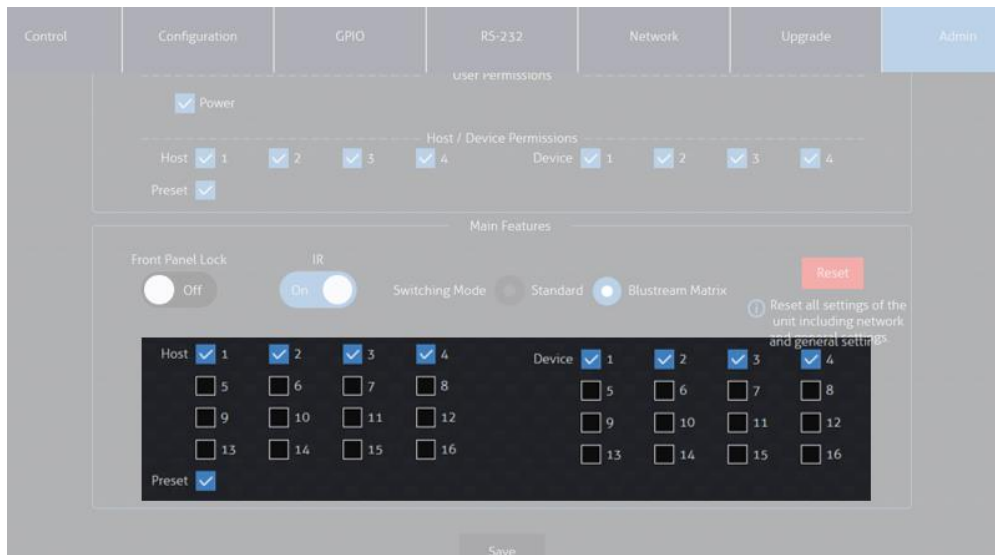
### Blustream Matrix 運用モードの変更

ウェブ GUI の ‘Admin’ ページ内、‘Switching Mode’ 項目で ‘Blustream Matrix’ 運用モードを変更することができます。



‘Admin’ ページ – ‘Switching Mode’

‘Blustream Matrix’ 運用モードを変更した場合、本体の運用台数に応じて、USB デバイス ‘Input’ と USB ホスト ‘Output’ の項目にチェックを入れてください。(MX44KVM x 1 台のみ運用する場合、‘Input’、‘Output’ 各1~4のみチェックを入れてください。)

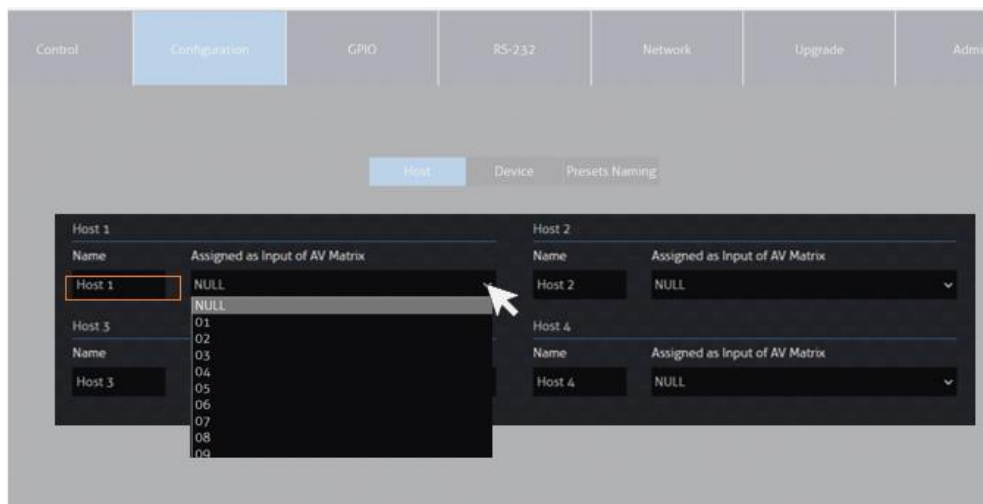


‘Admin’ ページ – ‘Host’ ‘Device’ ‘Preset’

‘Input’ (USB デバイス)と ‘Output’ (USB ホスト)の項目を設定した後、連動する Blustream 製 HDMI マトリックススイッチャーに合わせ、各 USB デバイスと USB デバイスの名称、ID を設定する必要があります。詳しい設定方法は本書 P.23「[USB ホストの設定](#)」、P.24「[USB デバイスの設定](#)」をご参照ください。

## USB ホストの設定

ウェブ GUI の ‘Configuration’ ページ内、‘Host’ セクションにて、Blustream 製 HDMI マトリックススイッチャーと連動制御運用、または本体を複数台に接続し連動運用する場合、制御連動させる機器の各ポートに USB ホスト名称と ID を割り当てることができます。



‘Configuration’ ページ – ‘Host’ セクション

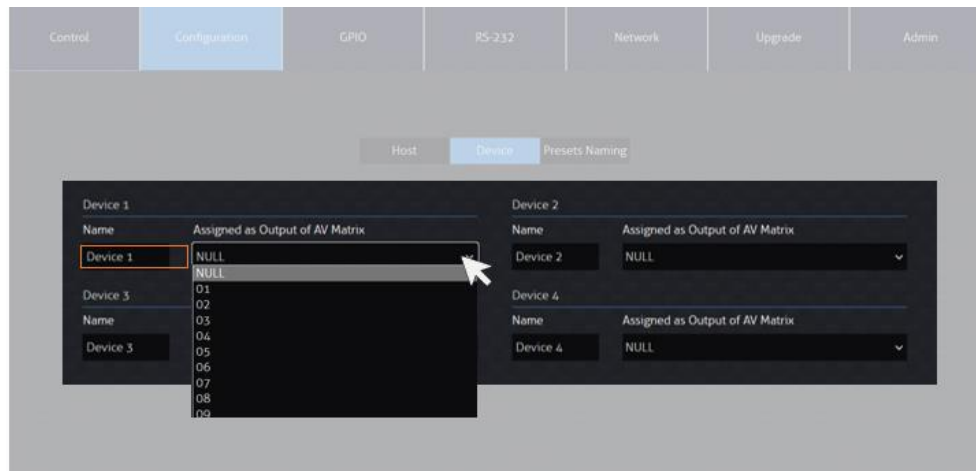
設定項目	説明	入力・設定値
Name	各 USB ホストの名称です。その下の入力欄にて入力ソース名を変更することができます。	入力可能な文字:12 桁半角、または 6 桁全角の漢字、英数、符号、ひらがな、カタカナ) ※3

※3 ご利用 PC の解像度により、入力された名称がすべて表示されない場合があります。名称がすべて表示されない場合は、‘Control’ ページでの表示を確認しながら、名称を変更してください。

Assigned as Input of AV Matrix	各 USB ホストの ID です。	01~16 / NULL(設定しない)
--------------------------------------	-------------------	---------------------

## USB デバイスの設定

ウェブ GUI ‘Configuration’ ページ内、‘Device’ セクションにて、Blustream 製 HDMI マトリックススイッチと制御連動運用時、または本体を複数台接続し連動運用する場合、制御連動させる機器の各ポートに USB デバイス名称と ID を割り当てることができます。



‘Configuration’ ページ – ‘Device’ セクション

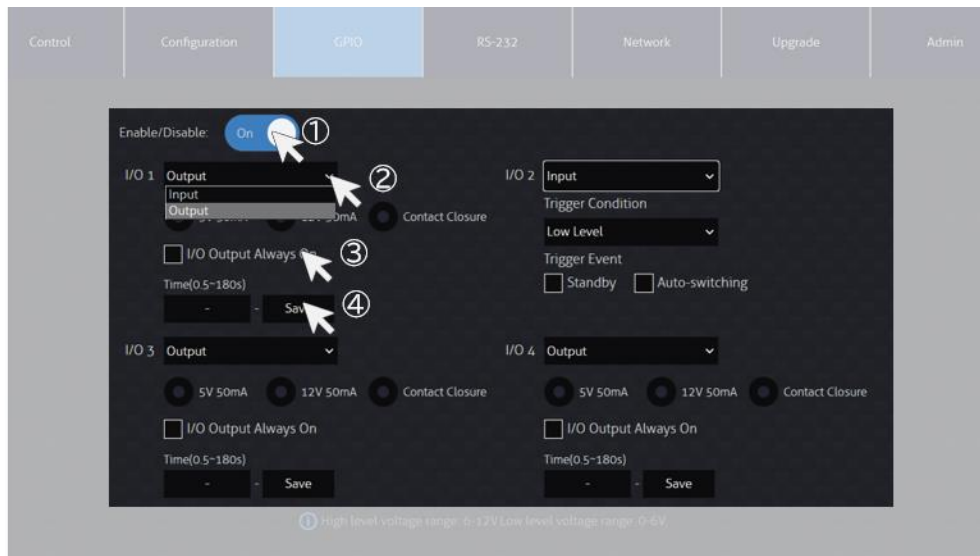
設定項目	説明	入力・設定値
Name	各 USB デバイスの名称です。その下の入力欄にて入力ソース名を変更することができます。	入力可能な文字:12 桁半角、または 6 桁全角の漢字、英数、符号、ひらがな、カタカナ) ※4
Assigned as Input of AV Matrix	各 USB デバイスの ID です。	01~16 / NULL(設定しない)

※4 ご利用 PC の解像度により、入力された名称がすべて表示されない場合があります。名称がすべて表示されない場合は、‘Control’ ページでの表示を確認しながら、名称を変更してください。



## GPIO の設定

ウェブ GUI ‘GPIO’ ページにて、本体背面に搭載された 4 つの GPIO 信号入出力端子の機能オン/オフ、信号種類(入力/出力)の選択、入力連動トリガー項目の設定、信号出力の電圧種類と継続時間の設定を行うことができます。



‘GPIO’ ページ

### 操作手順

1. GPIO 機能を ‘On’ に設定
2. 各端子(ポート)の信号(入力 Input/出力 Output)を選択
3. 入力と出力信号の詳細項目を設定
4. ‘Save’ をマウスで選択して、設定を保存

入力と出力信号の詳細設定項目は下記の通りです。

### GPIO 入力信号設定項目

設定項目	説明	選択肢・設定値
Trigger Condition	GPIO 入力信号の電圧を設定します。	Low Level (0-6V) / High Level (6-12V)
Trigger Event	トリガー連動機能をオン/オフ設定します。 (チェック入れる:オン)	Standby(スタンバイ状態(電源オフ))、 Auto-switching(自動切り替え機能オン)

### GPIO 出力信号設定項目

設定項目	説明	選択肢・設定値
出力電圧	GPIO 出力信号の電圧を設定します。	5V 500mA / 12V 500mA / Contact Closure(無電圧)
I/O Output Always ON	GPIO 信号を常時出力に設定します。	-
Time	GPIO 出力信号の継続時間を設定します。	0.5~180 秒(0.5 秒刻み)

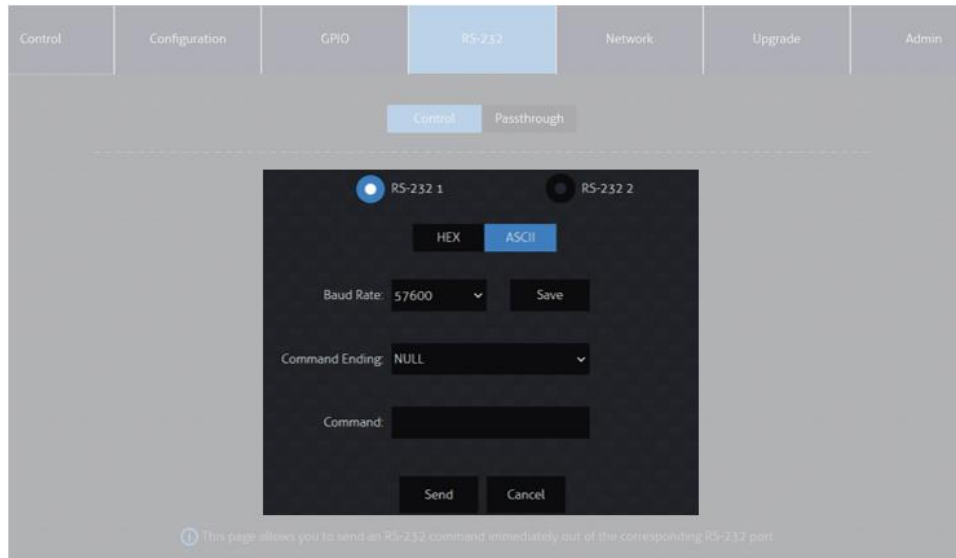
### Auto Switch 機能説明

Auto Switch 機能がオンの状態で、本体が出力割り当てのシリアル(RS-232)通信コマンド(OUT xx FR yy)を受信すると、USB デバイスの切り替えを行います。

Auto Switch 機能がオフの状態で、本体が USB デバイス割り当てのシリアル(RS-232)通信コマンド(USBOUT xx FR yy)を受信すると、USB デバイスの切り替えを行います。

## シリアル(RS-232)通信コマンドを送信

ウェブ GUI 'RS232' ページ内、'Control' セクションにて、本体背面の⑧RS-232 1、⑨RS-232 2 端子経由で、シリアル(RS-232)通信コマンドを送信することができます。



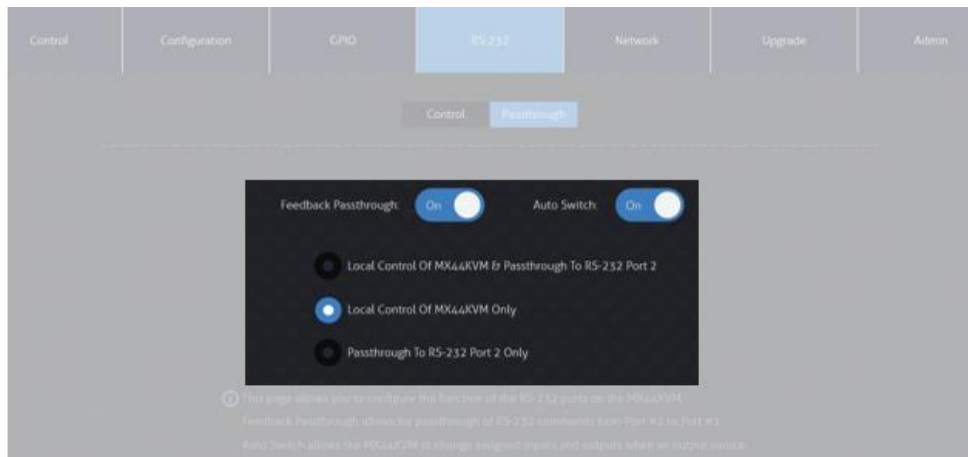
‘RS-232’ ページ – ‘Control’ セクション

### 操作手順

1. 通信端子を選択(RS-232 1 / RS-232 2)
2. シリアル(RS-232)通信設定項目を設定
  - コード種類(HEX/ASCII)、
  - ボーレート(2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200)、
  - コマンドエンディング(NULL/CR/LF/CR+LF)
3. コマンド入力欄にコマンドを入力
4. ‘Send’ をマウスで選択して送信

## 本体のシリアル(RS-232)通信モード設定

ウェブ GUI ‘RS232’ ページ内、‘Passthrough’ セクションにて、本体背面の⑧RS-232 1、⑨RS-232 2 端子経由シリアル(RS-232)通信モードを設定できます。



‘RS-232’ ページ – ‘Passthrough’ セクション

設定項目	説明
Feedback Passthrough	シリアル(RS-232)通信コマンドのフィードバック(応答)パススルー機能をオン/オフに設定できます。 オン:⑨RS-232 2 端子 → ⑧RS-232 1 端子経由フィードバック(応答)コマンドを本体が受信する オフ:⑨RS-232 2 端子 → ⑧RS-232 1 端子経由フィードバック(応答)コマンドを本体が受信しない
Auto Switch	Blustream 製マトリックススイッチャーの連動運用する際のオートスイッチ機能をオン/オフに設定できます。 オン:本体がシリアル(RS-232)通信コマンド ‘OUT xx FR yy’ を受信した場合、連動して USB ホスト xx に USB デバイス yy に割り当てる オフ:本体がシリアル(RS-232)通信コマンド ‘USBOUT xx FR yy’ を受信した場合のみ、連動して USB ホスト xx に USB デバイス yy に割り当てる
Local Control Of MX44KVM & Passthrough To RS-232 Port 2	シリアル(RS-232)通信コマンドで本体を制御し、⑨RS-232 2 端子経由でコマンドをパススルーするモード
Local Control Of MX44KVM Only	シリアル(RS-232)通信コマンドで本体を制御するが、⑨RS-232 2 端子経由でコマンドをパススルーしないモード
Passthrough To RS-232 Port 2 Only	シリアル(RS-232)通信コマンドで本体を制御しないが、⑨RS-232 2 端子経由でコマンドをパススルーするモード

## ネットワークの設定

ウェブ GUI ‘Network’ ページでマトリックススイッチャーのネットワーク設定の確認、及び変更を行います。設定変更した後、‘Save’ をマウスで選択し、新しい設定を適用します。



‘Network’ ページ

項目	説明
MAC Address	MAC アドレスです。
DHCP/Static IP	ネットワークの動作モード(‘DHCP’ / ‘Static IP’)設定です。 ※5
IP Address	IP アドレスです。 ※6
Subnet Mask	サブネットマスクです。 ※5
Gateway	ゲートウェイアドレスです。 ※5
mDNS	mDNS 機能のオン/オフ設定です。 ※7
Port 8000	Telnet 接続ポート(8000)のオン/オフ設定です。 ※6
Telnet Access	Telnet 接続のオン/オフ設定です。 ※6
Telnet Port	Telnet 接続ポートの入力欄です。 ※8
Device Name	デバイス(ドメイン)名を入力欄です。 ※6

※5 DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられた状態で DHCP をオフに設定すると、割り当てられていた IP アドレスがそのまま引き継がれます。(初期設定値である 192.168.0.200 には自動で変更されません)

※6 IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを変更するには、本機の ‘Static IP に’ に設定してから変更してください。

※7 mDNS’、‘ドメイン名称’、‘Telnet 接続ポート’、‘Telnet接続’ 設定機能を利用する前に、設置するネットワーク環境のネットワークの管理者に設定値をご確認ください。

※8 Telnet 通信を行う機器側の設定に合わせ、本体の Telnet 通信ポートを変更し、ご利用ください。

## 本体ファームウェアバージョン情報の確認

ウェブ GUI ‘Upgrade Firmware’ ページでマトリックススイッチャーのファームウェアバージョン、GUI バージョン情報を確認できます。



‘Upgrade’ ページ

項目	説明
GUI	本体ウェブ GUI のバージョン情報です。
Firmware	本体ファームウェアのバージョン情報です。

## ウェブ GUI ログインアカウント操作権限の設定

ウェブ GUI ‘Admin’ ページで管理者、ゲスト、ユーザーを含む最大 8 つのアカウント、ユーザーログイン名とパスワードの変更、各ページへのアクセス権限を割り当てることができます。



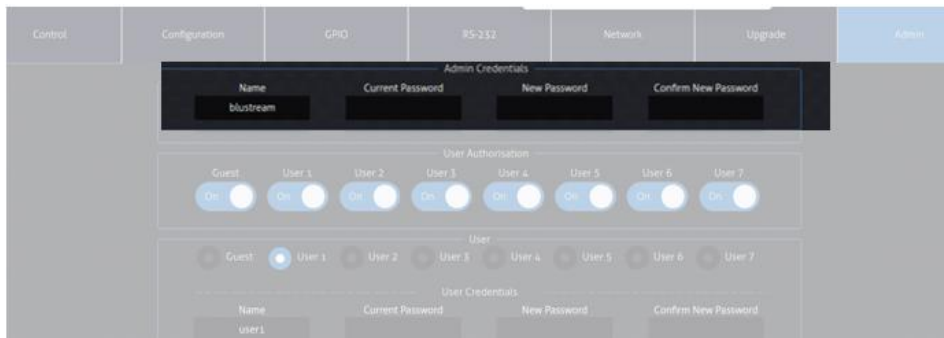
‘Admin’ ページ

ウェブ GUI のログインアカウントは下記 3 種類があります。

アカウント種類	アクセス権限を割り当て可能なページと機能								
	Control	Audio	Configu-ration	GPIO	RS232	Network	Upgrade Firmware	Power	Admin
管理者(Admin)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゲスト(Guest)	○	○	X	X	X	X	X	○	X
ユーザー1~8 (User1~8)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 管理者(Admin)ログイン名及びパスワードの変更方法

ウェブ管理者(Admin)の入力欄に新しいログイン名と新旧パスワードを入力した後、‘Save’ をマウスで選択します。※9



‘Admin’ ページ

入力欄	説明
Name	ログイン名を入力します。(12 桁までの半角英数のみ入力可能です。)
Current Password	現在のログインパスワードを入力します。(12 桁までの半角数字のみ入力可能です。)
New Password	新しいログインパスワードを入力します。(12 桁までの半角数字のみ入力可能です。)
Confirm New Password	確認のため、新しいログインパスワードを再度入力します。

## ゲスト及びユーザー(User)1~8アカウントのアクセス権限割り当て方法

1. アクセス権限を割り当てたいログインアカウントを有効に設定します。
2. アクセス権限を割り当てたいログインアカウントを選択します。
3. ログインアカウント名とパスワードの入力欄に新しいログイン名と新旧パスワードを入力します。※10
4. アクセス権限を割り当てます。
5. ‘Save’ をマウスで選択します。



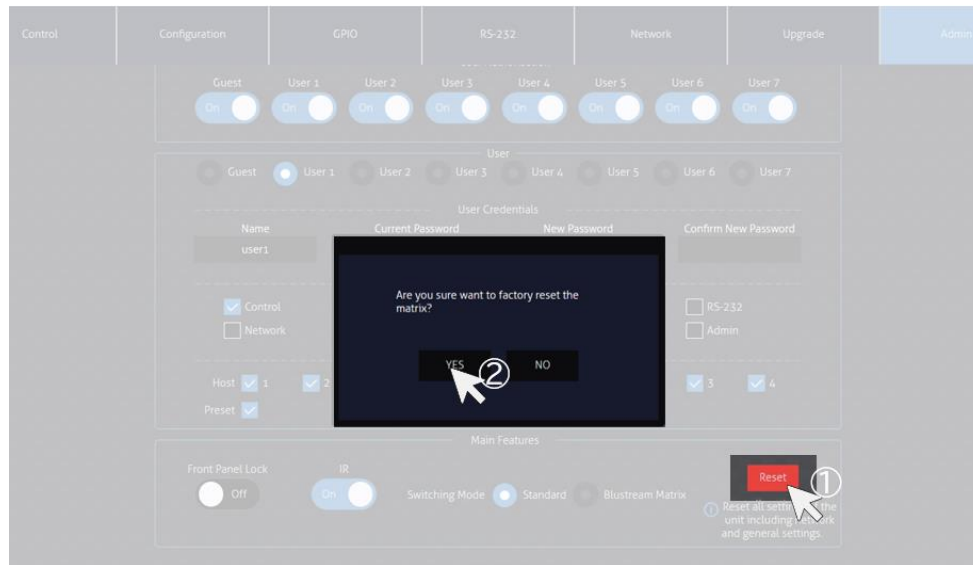
‘Admin’ ページ

※9 エラーメッセージとその説明: ‘Incorrect current Password, Please try again!’- 現行パスワードの入力間違いです。正しいパスワードを入力してください。 ‘Password cannot have special characters.’ - 対応していない文字を入力しています。入力可能な文字でもう一度入力してください。

※10 各入力欄に入力可能な文字は管理者(Admin)の入力欄に同様です。

## 設定のリセット

ウェブ GUI ‘Admin’ ページで本体の設定を工場出荷時設定に戻します。 ※11



‘Admin’ ページ

## その他設定

本体前面パネルのタッチボタン、前面パネルの IR 信号受光をオン/オフに設定できます。



‘Admin’ ページ

項目	説明
Front Panel Lock	本体前面パネルボタン操作ロック機能です。 Off:ボタン操作可能 On:ボタン操作不可
IR	本体 IR 信号受光のオン/オフ機能です。 On:IR 信号受光する On:IR 信号受光しない

※11 リセット中、約 1 分間ウェブ GUI へのアクセス及び Telnet 接続はできなくなります。

# シリアル(RS-232)通信及び Telnet コマンドで制御

## シリアル通信設定値

RS-232 でのシリアル通信で制御します。

制御コマンドの一覧は本書 P33「[RS-232 及び Telnet コマンド](#)」をご参照ください。

初期値は下記の通りです。

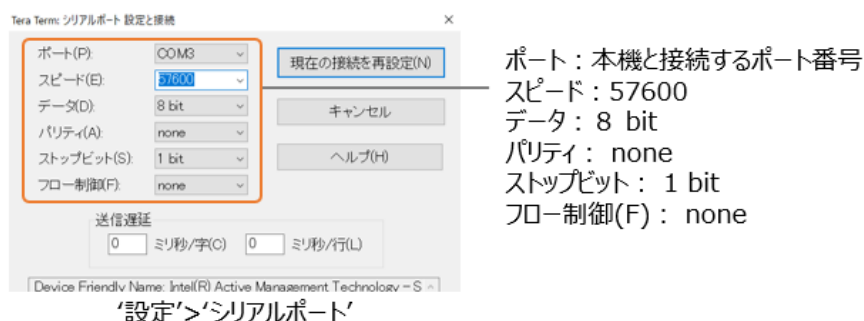
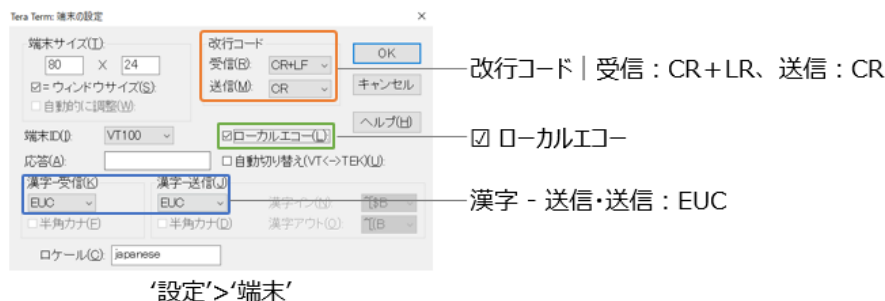
項目	設定値
ボーレート	57600
データビット	8 ビット
パリティ	なし(None)
ストップビット	1 ビット
フローコントロール	なし(None)

## Telnet 通信ポート

Telnet 通信ポート	23(初期設定値) <sup>※12</sup>
--------------	--------------------------

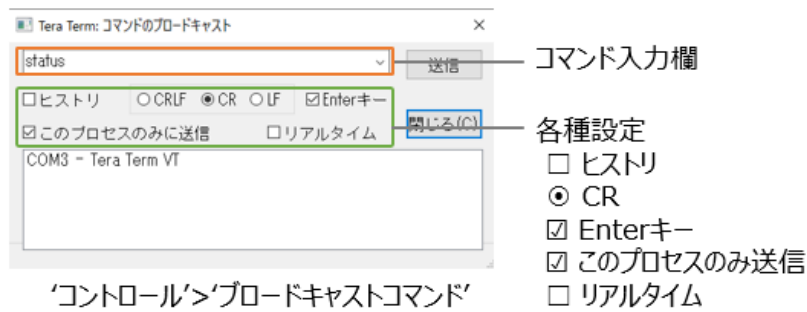
## ターミナルエミュレータソフトウェア設定例(Tera Term)

ターミナルエミュレータ「Tera Term」を利用する場合は、以下のように設定し、コマンド送信を行ってください。



※12 Telnet 通信ポートはマトリックススイッチャーのウェブ GUI にて変更できます。詳細は本書 P.28「[ネットワークの設定](#)」を参照してください。





## シリアル(RS-232)通信及び Telnet コマンド

シリアル通信及び、TCP/IP 通信経由で制御が可能です。利用可能なすべてのシリアルコマンドを以下のページに記します。

### 良くある失敗例

キャリッジリターン - ご利用になられるターミナルソフトウェアによっては、キャリッジリターン(改行)が必要、不要場合があります。一部のターミナルソフトウェアでは、トークン<CR>を使用してキャリッジリターンを実行するなど、ご利用になられるプログラムによって仕様が異なります。

- ・スペース(空白) - 本体はスペース(空白)を認識せず動作します。  
例: '1' は '01' は同じとみなします。
  - 文字列のフォーマット: 'USBOUT01FR02'
  - サードパーティ制御システムのコマンド例: 'USB{スペース(空白)}OUT{スペース(空白)}01{スペース(空白)}FR02'
- ・ボーレートまたはその他のシリアル通信プロトコルの設定間違い

## システムインフォメーションコマンド

項目	送信コマンド	応答
コマンド一覧を取得する	?	コマンド '?'、'HELP' の応答例(本書 P.34)をご参照ください
コマンド一覧を取得する	HELP	
システムステータス情報を取得する	STATUS	コマンド 'STATUS' の応答例(本書 P.34)をご参照ください
入力信号情報を取得する	INSTA	コマンド 'INSTA' の応答例(本書 P.34)をご参照ください
出力信号情報を取得する	OUTSTA	コマンド 'OUTSTA' の応答例(本書 P.35)をご参照ください
GPIO 入出力設定情報を取得する	GPIOSTATUS	コマンド 'GPIOSTATUS' の応答例(本書 P.35)をご参照ください
カスケード制御情報を取得する	CASCADESTATUS	コマンド 'CASCADESTATUS' の応答例(本書 P.35)をご参照ください

```

=====
MX44KVM 4x4 USB 3.0 Matrix Switcher
FW Version: V1.2.0
=====System Information Commands
STATUS          Print System Status And Port Status
INSTA           Print All Input Status
OUTSTA         Print All Output Status
GPIOSTATUS     Print All GPIO Status
CASCADESTATUS  Print All Cascade Status
=====System Control Commands
PON/OFF        Set System Power On Or Off
IR_ON/OFF     Set System IR Control On Or Off
KEY_ON/OFF    Set System Key Control On Or Off
RESET         Reset System To Default Setting
              (Type 'Yes' To Confirm, Or Send Other Command To Discard)
USBOUT xx FR yy Set USB Host From Device:yy
              xx = [01-04] : USB Host 1 - 4
              yy = [01-04] : USB Device 1 - 4
              yy = 00 : All USB Device
DEVICE xx ON/OFF Set Disable USB Device Data Connection
              xx = 0 : All Devices
              xx = [01-04] : Device 1 - 4
DEVICE xx PON/POFF Set Disable USB Device Power
              xx = 0 : All Devices
              xx = [01-04] : Device 1 - 4
=====

```

### コマンド‘?’、‘HELP’の応答例(一部)

```

=====
MX44KVM 4x4 USB 3.0 Matrix Switcher
FW Version: V1.2.0
Power      Key      GPIO      RS232 1&2 Baud
ON         ON        Enable    57600

IR         AUTOSW   RS232PASSMODE  RS232PASSFEED
ON         ON        2           ON

DATA:     DEVICE1  DEVICE2  DEVICE3  DEVICE4
POWER:    ON      ON      ON      ON

HOST:     DEVICE1  DEVICE2  DEVICE3  DEVICE4
          1      2      3      4

          HOST1  HOST2  HOST3  HOST4
DEVICE1:  1      0      0      0
DEVICE2:  0      1      0      0
DEVICE3:  0      0      1      0
DEVICE4:  0      0      0      1

OUT:      DEVICE1  DEVICE2  DEVICE3  DEVICE4
          00      00      00      00

FR:       HOST1    HOST2    HOST3    HOST4
          00      00      00      00
=====

```

### コマンド‘STATUS’の応答例(一部)

```

=====
MX44KVM 4x4 USB 3.0 Matrix Switcher
FW Version: V1.2.0

HOST:     DEVICE1  DEVICE2  DEVICE3  DEVICE4
          1      2      3      4
=====

```

### コマンド‘INSTA’の応答例

```

=====
MX44KVM 4x4 USB 3.0 Matrix Switcher
FW Version: V1.2.0

HOST1 HOST2 HOST3 HOST4
DEVICE1: 1 0 0 0
DEVICE2: 0 1 0 0
DEVICE3: 0 0 1 0
DEVICE4: 0 0 0 1
=====

```

### コマンド 'OUTSTA' の応答例

```

=====
MX44KVM 4x4 USB 3.0 Matrix Switcher
FW Version: V1.2.0

GPIOOUT:      MODE      TriggeringTime
1             Close      -
2             Close      -
3             Close      -
4             Close      -

GPIOIN:       MODE      TriggerLevel
1             Close      -
2             Close      -
3             Close      -
4             Close      -
=====

```

### コマンド 'GPIOSTATUS' の応答例

```

=====
MX44KVM 4x4 USB 3.0 Matrix Switcher
FW Version: V1.2.0

DEVICE1 DEVICE2 DEVICE3 DEVICE4
OUT:    00      00      00      00

HOST1  HOST2  HOST3  HOST4
FR:    00      00      00      00
=====

```

### コマンド 'CASCADESTATUS' の応答例

## システムコントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
本体を電源オンする	PON	[SUCCESS] Set System Power On, Please Wait a Moment...Done.	-
本体を電源オフする	POFF	[SUCCESS] Set System power Off.	-
本体のフロントタッチボタン操作を有効に設定する	KEY ON	[SUCCESS] Set Key On	-
本体フロントタッチボタン操作を無効に設定する	KEY OFF	[SUCCESS] Set Key Off	-
本体すべての設定をリセットする	RESET	[SUCCESS] Reset System To Default Setting?	Yes=実行 No=キャンセル
USB デバイス xx を USB ホスト yy に割り当てる	USBOUT yy FR xx	[SUCCESS]Set Output [yy] Connect From Input [xx].	xx=[01-04:USB デバイス 1-4] yy=「00:すべての USB ホスト 01-04:USB ホスト 1-4」
USB デバイス xx のデータ通信をオンに設定する	DEVICE xx ON	[SUCCESS]Set Enable Device [xx] Data Connection.	
USB デバイス xx のデータ通信をオフに設定する	DEVICE xx OFF	[SUCCESS]Set Disable Device [xx] Data Connection.	
USB デバイス xx の USB 給電をオンに設定する	DEVICE xx PON	[SUCCESS]Set Enable Device [xx] Power.	
USB デバイス xx の USB 給電をオフに設定する	DEVICE xx POFF	[SUCCESS]Set Disable Device [xx] Power.	
現在の USB デバイス割り当てステータスをプリセット pp に保存する	PRESET pp SAVE	[SUCCESS]Save Current Output Connection To Preset [pp].	pp=「01-08:プリセット 1-8」
プリセット pp の設定を削除する	PRESET pp CLR	[SUCCESS]Delete Preset [pp].	
プリセット pp の設定を呼び出す	PRESET pp APPLY	[SUCCESS]Apply Preset [pp]. [ERROR]The Preset [pp] Is Empty.	
USB ホスト xx と連動する Blustream 製マトリックススイッチャーの入力 yy と関連付ける	HOST xx FR yy	[SUCCESS]Set Host [xx] Connect From Input [yy] Of AV Matrix.	xx=[01-04:USB ホスト 1-4] yy=「01-16:マトリックススイッチャー入力1-16」
USB デバイス xx と連動する Blustream 製マトリックススイッチャーの出力 yy と関連付ける	DEVICE xx OUT yy	[SUCCESS]Set Device [xx] Connect From Output [yy] Of AV Matrix.	xx=[01-04:USB デバイス 1-4] yy=「01-16:マトリックススイッチャー出力1-16」
本体の GPIO 機能を有効/無効に設定する	GPIOENABLE x	[SUCCESS]Set GPIO Enable/Disable.	x=「0:Disable 無効 1:Enable 有効」
GPIO xx を出力に指定し、モード yy、信号出力継続時間を zzzz に設定する	OUTPIN xx MODE yy Time zzzz	[SUCCESS]Set GPIO [xx] Output Mode [yy] Time [zzz].	xx=[00:すべての GPIO 01-04:GPIO 1-4] yy=「01:output 5V 50mA 02:output 12V 50mA 03:Contact Closure(無電圧) zzzz=「0005-1800(0.5 秒~180 秒、0.5 秒刻み)」
GPIO xx を入力に指定し、モード yy、入力信号の電圧を z に設定する	INPIN xx MODE yy S N z	[SUCCESS]Set GPIO [xx] Input Mode [yy] Sign [z].	xx=[00:すべての GPIO 01-04:GPIO 1-4] yy=「00:Turn Off All Detection Modes(すべての検出モードをオフ) 01:Turn On Standby Mode Detection(スタンバイ状態(電源オフ)) 02:Turn On Auto Switching Mode Detection(自動切り替え機能オン) z=「0:Low Level Valid(0-6V) 1:High Level Valid(6-12V)」

## シリアル(RS-232)通信設定コマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
本体のシリアル(RS232)通信ボーレートを設定する	RS232BAUD z	[SUCCESS] Set RS-232 Baudrate To [z]	z=[1:2400 2:4800 3:9600 4:19200 5:38400 6:57600(初期設定値) 7:115200]
シリアル(RS232)通信のフィードバックをオンに設定する	RS232PASSFEED ON	[SUCCESS]Set RS232PASS FEED On,	-
シリアル(RS232)通信のフィードバックをオフに設定する	RS232PASSFEED OFF	[SUCCESS]Set RS232PASS FEED Off.	-
Blustream 製マトリックススイッチャーの連動運用する際のオートスイッチ機能をオンに設定	AUTOSWITCHING ON	[SUCCESS]Set AutoSwitching On.	-
Blustream 製マトリックススイッチャーの連動運用する際のオートスイッチ機能をオフに設定	AUTOSWITCHING OFF	[SUCCESS]Set AutoSwitching Off.	-
本体のシリアル(RS-232)通信モードを xx に設定する	RS232PASS xx	[SUCCESS]Set RS232PASS Mode To [xx].	xx=[01:Local Control Of MX44 KVM & Passthrough To Rs-232 Port 2 <sup>※13</sup> 02:Local Control Of MX44 KVM Only <sup>※14</sup> 03:Passthrough To RS-232 Port 2 Only <sup>※15</sup> ]
シリアル(RS-232)通信ポート a にカスタムコマンド d を送信する (b:コード種類 c:ボーレート)	RS232ONOUT a:b:c:d	-	a=[1:RS232-1 2:RS232-2] b=「a:ASCIIコード h:HEXコード」 c=[1:2400 2:4800 3:9600 4:19200 5:38400 6:57600(初期設定値) 7:115200] d=「シリアル(RS-232)通信コマンドを入力します。」

※13 シリアル(RS-232)通信コマンドで本体を制御し、④RS-232 2 端子経由でコマンドをパススルーするモード

※14 シリアル(RS-232)通信コマンドで本体を制御するが、④RS-232 2 端子経由でコマンドをパススルーしないモード

※15 シリアル(RS-232)通信コマンドで本体を制御しないが、④RS-232 2 端子経由でコマンドをパススルーするモード

# ネットワーク設定コマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
マトリックススイッチャーの DHCP 機能をオンに設定する	NET DHCP ON	[SUCCESS]Set DHCP to ON.	-
マトリックススイッチャーの DHCP 機能をオフに設定する <sup>※16</sup>	NET DHCP OFF	[SUCCESS]Set DHCP to OFF.	-
Telnet 通信をオンに設定する <sup>※17</sup>	NET TN ON	[SUCCESS]Set telnet port to ON.	-
Telnet 通信をオフに設定する	NET TN OFF	[SUCCESS]Set telnet port to OFF.	-
Telnet 通信ポート(8000)をオンに設定する <sup>※17</sup>	NET TN8000 ON	[SUCCESS]Set telnet port 8000 to ON.	-
Telnet 通信ポート(8000)をオフに設定する <sup>※17</sup>	NET TN8000 OFF	[SUCCESS]Set telnet port 8000 to OFF.	-
mDNS 機能をオンに設定する <sup>※17</sup>	NET MDNS ON	[SUCCESS]Set mDNS to ON.	-
mDNS 機能をオフに設定する <sup>※17</sup>	NET MDNS OFF	[SUCCESS]Set mDNS to OFF.	-
マトリックススイッチャーの IP アドレスを設定する <sup>※18</sup>	NET IP xxx.xxx.xxx.xx x	[SUCCESS]Set IP address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[IP アドレス] ※入力例:192.168.001.100
マトリックススイッチャーのゲートウェイを設定する	NET GW xxx.xxx.xxx.xx	[SUCCESS]Set gateway address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[ゲートウェイ] ※入力例:192.168.001.001
マトリックススイッチャーのサブネットマスクを設定する	NET SM xxx.xxx.xxx.xx	[SUCCESS]Set gateway address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[サブネットマスク] ※入力例:255.255.255.000
ネットワーク設定をリポートし、新しい設定を適用する	NET RB	[SUCCESS]Set Network Reboot and Apply New Config.	-
マトリックススイッチャーの Telnet 通信ポートを設定する <sup>※19</sup>	NET TN xxxx	[SUCCESS]Set telnet port to [xxxx].	xxxx=[ポート番号] ※初期設定値=23

※16 DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられた状態で DHCP をオフに設定すると、割り当てられていた IP アドレスがそのまま引き継がれます。(すべて設定またはネットワーク設定をリセットすると初期設定値である 192.168.0.200 に戻ります。)

※17 mDNS、ドメイン名称、Telnet 接続ポート、Telnet 接続 設定機能を利用する前に、設置するネットワーク環境のネットワークの管理者に設定値をご確認ください。

※18 IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを変更するには、本機の 'Static IP に' に設定してから変更してください。

※19 Telnet 通信を行う機器側の設定に合わせ、本体の Telnet 通信ポートを変更し、ご利用ください。

## FAQ よくある質問

故障かな?と思ったら、お問い合わせになる前に、まず、以下の点をご確認ください。

確認しても問題が解決しない場合は、お買い上げ販売店または、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

### ホスト PC や USB デバイスが認識されない場合の対処方法

USB ケーブル接続を確認し、しっかりと接続されているかを確認してください。  
 ホスト PC とデバイスの USB 規格に対応している USB ケーブルを使用しているかを確認してください。  
 別の USB ポートに接続してみてください。  
 ホスト PC や USB 周辺機器を再起動してください。  
 USB デバイスのドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。

### データ転送速度が遅い、または予期しない切断が発生する場合の対処法

シリアル(RS-232)通信コマンド' STATUS' で、デバイスポートの給電のステータスをご確認してみてください。(確認方法は本書 P.32「[シリアル\(RS-232\)通信及び Telnet コマンドで制御](#)」をご参照ください。)  
 USB ケーブルが正しい規格のものかどうか確認してください。  
 USB ポートが過負荷になっていないか、他のデバイスを一時的に取り外して確認してください。  
 ホスト PC のパフォーマンスが低下していないか、タスクマネージャー(WindowsPC の場合)で確認してください。

### USB 給電機能が正常に動作しない場合の対処方法

USB デバイスが USB 給電に対応しているか確認してください。  
 機器が必要とする電流や電圧が本体の規格内であるか確認してください。  
 USB ケーブルが劣化していないか、別のケーブルで試してみてください。

### ウェブ GUI へのアクセスができない場合の対処方法

ブラウザが最新版であることを確認してください。  
 入力した IP アドレスが正しいことを確認してください。  
 PC のファイアウォールがウェブ GUI への接続をブロックしていないか確認してください。

### IR リモコンが反応しない場合の対処法

IR リモコンの電池が切れていないか確認し、必要であれば交換してください。  
 IR リモコンと本体の間に障害物がないことを確認してください。  
 IR リモコンが本体の受信範囲内にあることを確認してください。

### RS-232 コマンドパススルー機能が正常に動作しない場合の対処方法

RS-232 ケーブルの接続を確認し、必要であれば交換してください。  
 使用しているコマンドが正しいかどうか確認してください。  
 ボーレートやデータビット、ストップビット等の通信設定が正しいことを確認してください。

### 本体と他の Blustream マトリックススイッチャーとの連携がうまくいかない場合の対処法

両方のデバイスが正しく接続されていることを確認してください。  
 両方のデバイスが最新のファームウェアにアップデートされているか確認してください。  
 連携に使用するコマンドや設定が正しいかどうか確認してください。

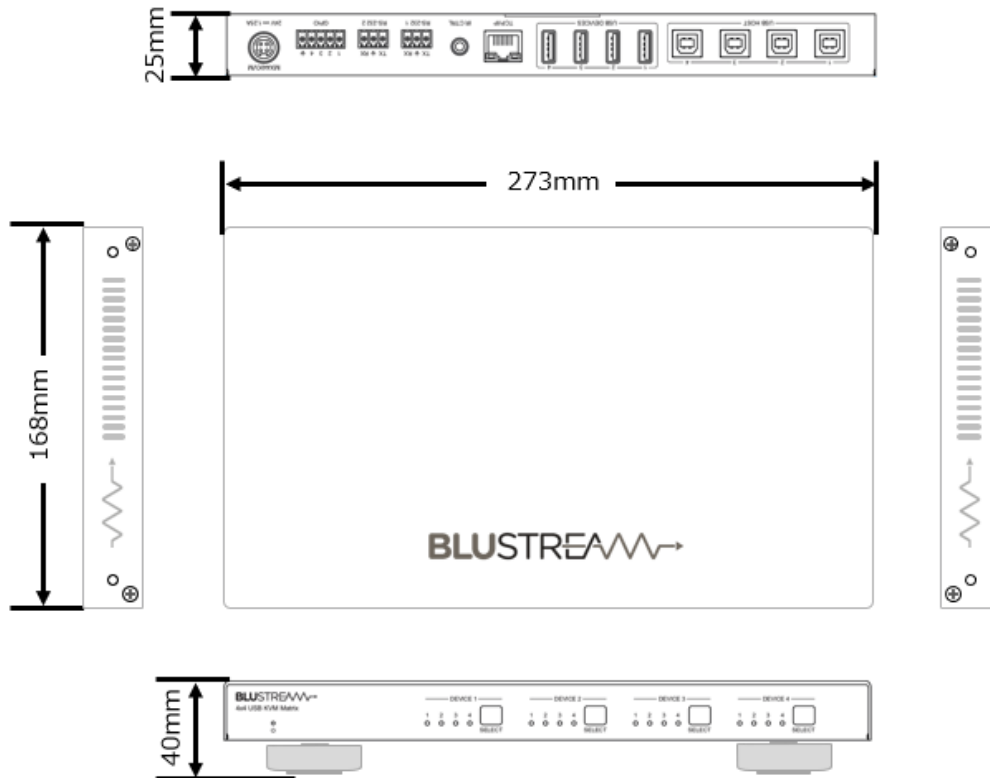
## 主な仕様

型番	MX44KVM
対応 OS	Windows、Mac、Linux OS
対応 USB 機器	プリンター、USB ウェブカメラ、USB キーボード、USB マウス、USB マイク、USB メモリーなど
入力端子	USB タイプ A x 4
出力端子	USB タイプ B x 4
その他端子	3.5mm ステレオミニジャック x1(IR 受信ケーブル用) / 3 ピンターミナルブロック x2(RS-232 通信用) / 5 ピンターミナルブロック x1(GPIO 入出力用) / RJ-45 x1(ウェブ GUI 用)/ DC 入力ジャック x1
USB 規格	USB .3.0 準拠(USB .2.0/1.1 互換)
USB 給電	USB-A ポート 1~4: 1 ポートあたり 5V 900mA
RS-232 通信ボーレート	2400 / 4800 / 9600 / 19200 / 38400 / 57600 / 115200bps (初期設定値:57600bps)
外形寸法(WxDxH)	273mm x 168mm x 25mm (突起物を除く)
本体重量	約 1,150g
動作温度	0°C~40°C
保存温度	-20°C~60°C
動作/保存湿度	10% ~90%(結露なきこと)
入力電源	DC 24V(4 ピン DIN コネクタ)
同梱品	MX44KVM 本体 x1 / 専用 AC アダプター x1 / USB A to B ケーブル x 1 / IR 受信ケーブル IRR x1 / 5 ピンターミナルブロック x1 / 3 ピンターミナルブロック x 2 / 専用マウントブラケット x 2(ネジ x 4 本付き)/ 本体用足 x 4(ネジ 4 本付き) / 注意事項・保証書 x 1
適合認証	FCC/CE/PSE(AC アダプター)/RoHS
保証期間	ご購入から 3 年間

- ※ USB ポートを搭載し、パソコン本体メーカーが USB ポートの動作を保証している機種。
- ※ USB 3.0/2.0 の環境で動作させるためにはパソコン本体に USB 3.0/2.0 ポート(または以上)が必要です。
- ※ パソコン・USB 機器により対応できないものもあります。
- ※ 複数の USB デバイスを本機を介して、1 つのホスト PC に共有することができますが、同時に複数のホスト PC が 1 つの USB デバイスへのアクセスを行うことはできません。
- ※ Windows は、米国 Microsoft Corporation およびその他の国における登録商標または商標です。
- ※ Mac 及び macOS は、Apple Inc.の商標です。
- ※ 記載されているソフトウェア名・製品名・サービス名などは各社の商標、または登録商標です。
- ※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。
- ※ 外観、および各仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。



## 外形寸法



## サポート専用問い合わせ先

お問い合わせの前に…「FAQ よくある質問」をご参照ください。

[www.ad-techno.com/support/info/faq/](http://www.ad-techno.com/support/info/faq/)

**それでも解決しない場合：**

**製品のお問い合わせ：** [www.ad-techno.com/support/info/contact/](http://www.ad-techno.com/support/info/contact/)

**修理のご相談：** [www.ad-techno.com/support/service/contact/](http://www.ad-techno.com/support/service/contact/)

お問い合わせの際は以下内容をご確認ください。

- ・弊社製品の型番及びシリアル番号
- ・ご質問内容(症状など)

### 注意

本製品のサポートは日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。

また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。